

「2022年度 唐丹中学校卒業生に送る言葉」



♪♪♪♪♪ 「I, YOU, WE」 <https://www.youtube.com/watch?v=GWBIO7Lgrt8> ♪♪♪♪♪



本日をもって、義務教育9年の一切を終了し、唐丹中学校を去る卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして、高校生デビュー お目出とうございます。



東日本大震災から3年が過ぎ、まだ仮設校舎での学校生活を余儀なくされていた、2014年4月、唐丹小学校に入学した皆さんの姿を今日まで見守って参りました。この9年間、皆さんの成長をつぶさに見せて頂いた事、何物にも代え難い



宝物になりました。有難うございました。

2017年12月、クリスマス慰問で4年生になった皆さんと一緒に「I, YOU, WE」を歌いました。表千家茶道体験のお茶席では、大きなお茶碗を両手でしっかり持って抹茶を美味しそうに飲んでいました。



6年生の運動会では、「よさこいソーラン」を元気に踊る姿を見せて下さいました。最後に皆さんと会ったの

は、グランドピアノを学校に届けた2019年12月11日でした。六年生だった皆さんの合唱はとても素晴らしく、両腕を大きく広げて指揮する青山準佑君の堂々とした姿は今も目に焼き付いています。 <https://en-trance.jp/news/kamaishishinbun/22402.html>



皆さんの中学校生活は、コロナ禍で、一度も拝見出来ませんでした。校長先生が、毎週送って下さる学校報「不撓不屈」で更なる成長を遂げる姿を見せて頂きました。テレビ

番組「一万人の第九 2020 + 1」に出演した時は、全国の支援者にも知らせ、テレビに釘付けになって、皆さんの顔を探し当てるのに必死でした。唐丹中学校の生徒を見つけると、宝物を探し当てた少女のように跳ね上がって喜んだものでした。支援者から沢山の祝福の声も届き、あなた達は唐丹希望基金の自慢の生徒でした。

最後に皆さんに伝えたい事。

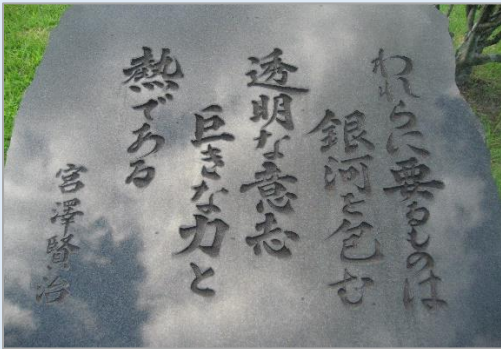
それは「人は平和を創りだす為に生まれて来た」という事を忘れないでください。あなた達の行く先々では、社会の浄化剤を担う人になれるよう励んでください。



人生は、常に分岐点に立たされて進んで行かなくてはなりません。世に漂う数多い善悪の選択肢の中から、一つの道を選びながら生きて行かなければならないのです。これは、生まれた者 全ての人間に与えられた試練でもあります。この世を去る最後まで、人間らしく生きるために課せられた「生涯の課題」です。必ずや、皆さんの未来に待っているであろう

「尊い宝（価値ある生き方）」を手にする事を願って止みません。迷った時は、故郷「唐丹の懐」に抱かれて育った頃に立ち帰って下さい。唐丹の風や空気、波の音は、あなた達に活力を与え、新たな道を見出すヒントを与えてくれるに違いありません。

全ての人間には「一生をかけて成すべきこと」が課せられています。様々な出会いを繰り返し、真に心が望む道を求めて、たとえ困難であっても、信じた道を見失うことなく努力を止めないでく



ださい。その努力とは体のトレーニングかもしれませんが、勉学に励み知識を広げる事かもしれませんが、心の修練だけは欠かしてはなりません。どんな時にも、己の心と向き合い、強い意志と透明な心を失わずに進めば、「あなたの求める真の道」に辿り着く事でしょう。

「われらに要るものは 銀河を包む

透明な意志 巨きな力と熱である」 宮澤賢治

皆様の前途を祝し、送別の言葉に代えさせていただきます。

2023年3月12日

唐丹希望基金 高館千枝子